

# 令和5年6月19日～6月25日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第8報)

## 1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

6月19日～6月25日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、21、22日に「注意」を示す21以上25未満となり、19、20、23、24、25日に「警戒」を示す25以上28未満となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、21、22日の暑さ指数(WBGT)は10年間平均値より低くなり、特に6月21日は2程度低くなりましたが、それ例外の日は平均値より高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、札幌を除き「警戒」を示す25以上になる日があり、東京、高知、福岡、鹿児島では「厳重警戒」を示す28以上に、那覇では「危険」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。

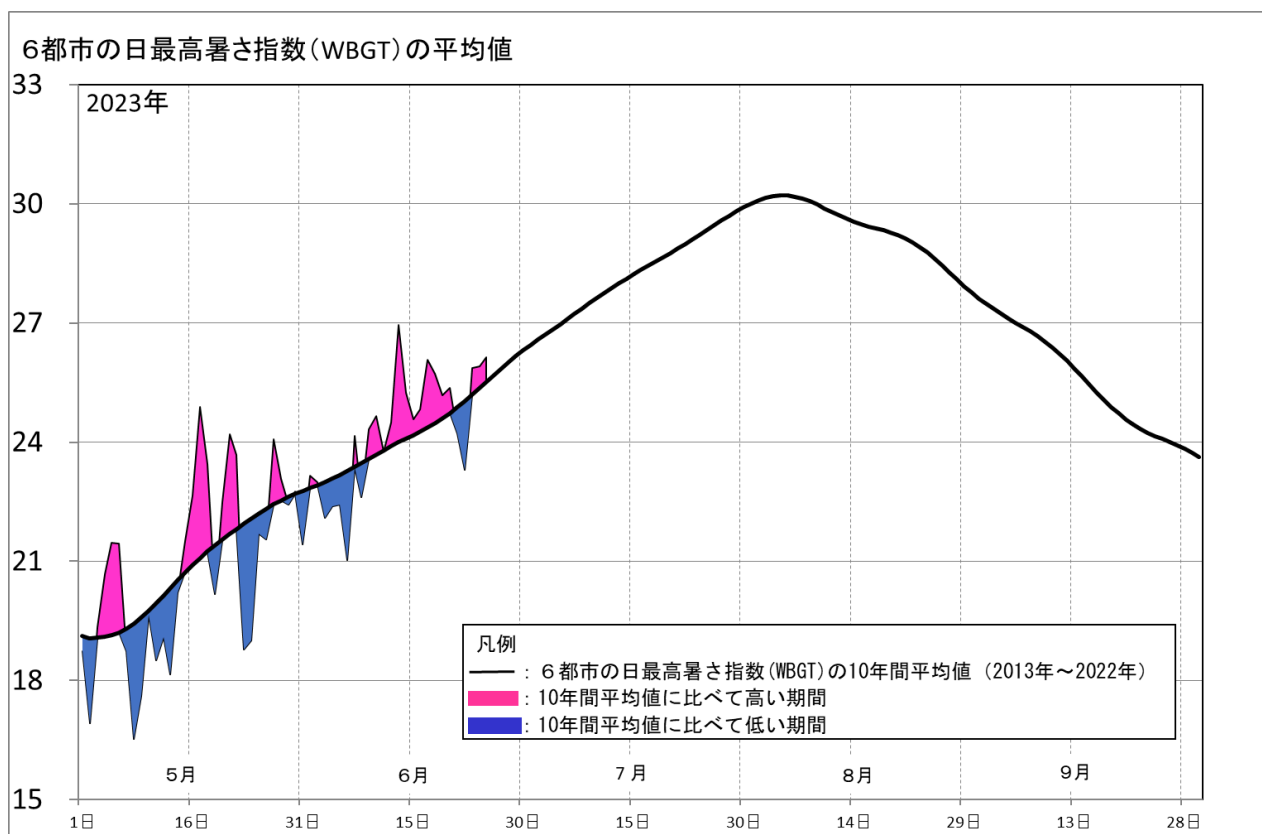


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(6月19日～6月25日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
19	17.5	21.4	21.1	25.4	26.2	26.5	25.0	26.7	26.9	27.4	27.3	25.2
20	20.1	23.2	22.8	25.5	23.9	26.2	24.4	26.8	29.4	29.8	29.8	25.4
21	23.7	23.9	23.7	25.2	23.9	24.7	21.4	23.0	26.4	25.7	30.1	24.2
22	21.8	20.8	21.6	20.4	21.6	24.5	25.5	24.6	26.2	27.3	30.2	23.3
23	22.0	22.8	25.6	26.2	25.0	25.9	25.0	26.2	27.5	27.2	30.0	25.9
24	22.4	24.8	25.7	27.6	26.1	25.5	24.3	28.0	26.2	25.1	31.2	25.9
25	24.2	25.8	25.1	28.6	26.5	26.1	25.2	28.3	25.3	25.1	30.4	26.1

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の6月19日～6月25日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
28以上	0	0	0	3	0	0	0	2	2	2	52
25以上	0	4	7	24	18	14	6	33	36	34	168

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

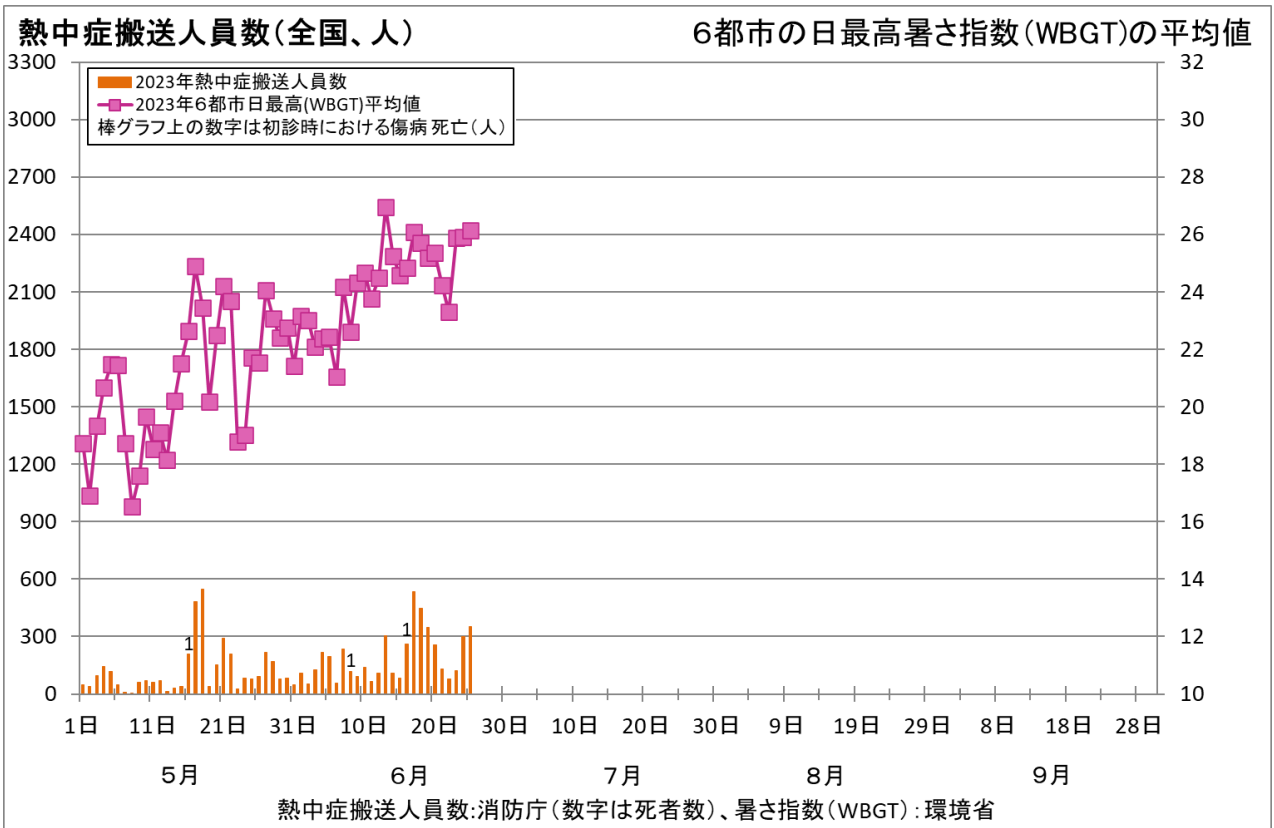


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が6月19日の346人、25日の350人で、6月19日～6月25日の総数は1,584人となりました(図2)。

### 3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

6月19日～6月25日の間、熱中症警戒アラートの発表状況は以下のようになっております。（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（6月19日～6月25日）

地方※1	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※2	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方※1	中国	四国	九州北部※3	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均※2	0	0	0	0	1	
のべ回数	0	0	0	0	4	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

### 4. 今後の見通し(6/28 14:30時点)

6月30日までは、全国で「厳重警戒」を示す暑さ指数28以上に、関東地方以南で「危険」を示す暑さ指数31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（6月28日発表、6月29日～7月10日）によると、「北日本の向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高い日が多く、かなり高い日もあるでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

関東甲信地方と北陸地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高い日が多く、関東甲信地方では、7月2日頃まではかなり高い日もあるでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

東海地方と西日本の気温は、向こう4日間程度は平年並か高く、その後は平年並でしょう。各地で真夏日となる見込みです。熱中症対策など健康管理に注意してください。

沖縄・奄美の向こう2週間の気温は、平年並か高い日が多いですが、奄美地方では低い日もあるでしょう。各地で真夏日となる見込みです。熱中症対策など健康管理に注意してください。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について（気象庁提供図を補足）

北海道		宗谷			
上川・留萌		網走・北見・紋別			
石狩・空知・後志		十勝		釧路・根室	
胆振・日高					
渡島・檜山					
				青森	
				秋田 岩手	
				山形 宮城	
		北陸		福島	
		石川 富山 新潟		茨城	
		福井 岐阜 長野 群馬		栃木 埼玉	
		滋賀 山梨		東京 千葉	
		京都 奈良 三重 愛知 静岡		和歌山 神奈川	
		中国		東海	
		山 島根 鳥取 兵庫		近畿	
		山口 広島 岡山		愛媛 香川	
		九州北部		四国	
		長崎 佐賀 福岡		高知 徳島	
		熊本 大分			
		九州南部			
		鹿児島 宮崎			
		奄美			
		沖縄			
		沖縄本島			
		八重山 宮古島 大東島			